りょう

◎カトマンドゥ市内橋 梁 架け替え計画 に関する交換公文及び同交換公文に基づく平成四年度の贈与限度額に する日本国政府とネパール王国政府との間の交換公文 (第二段階) の実施の のため の贈与 関

略称)ネパールとのカトマンドゥ市内橋梁架け替え計画 限度額に関する取極 の実施のための贈与取極及び同取極に基づく平成四年度の贈与 (第二段階

平成 四年 五月二十六日 効力発生 平成 四年 五月二十六日 カトマンドゥで

平成 四年 七月二十四日 告示

(外務省告示第三三三号)

○カトマンドゥ市内橋 梁 架け替え計画 目 次 (第二段階) の実施のための贈与に関する日本国政府とネパール 六八七 100 ージ

日本側書簡 王国政府との間の交換公文 3 2 5 4 1 贈与の使用期間 契約の締結及び認証 贈与の対象 贈与の供与 日本国政府の払込み 六八九 六八九 六八八 六八七 六八七 六八七

極に基づく平成四年度の贈与限度額に関する取極ネパールとのカトマンドゥ市内橋 梁 架け替え計画 (第二段階) の実施のための贈与取極及び同取一六八五

(第二段階)

極に基づく平成四年度の贈与限度額に関する取極ネパールとのカトマンドゥ市内橋 梁 架け替え計画 の実施のための贈与取極及び同取

	ネパール側書簡	日本側書簡	王国政府との間の交換公文に基づく平成四年度の贈与限度額に関する交換公文 一	○カトマンドゥ市内橋 梁 架け替え計画(第二段階)の実施のための贈与に関する日本国政府とネパール	ネパール側書簡	7 協議	6 ネパール政府のとる措置	
7 7 3	六九五	六九三	六九三		六九二	六九一	六九〇	

用期間 間

(カトマンドゥ市内橋梁架け替え計画(第二段階) た の交換公文) めの贈 与に関 する日本国政府とネパール王国政府と の 実施

#### 日 本側 書簡

### (訳文)

次 政府の代表者との間で最近行われた討議に言及するとともに、 日 国 L 本 国 の取極を日本国政府に代わって提案する光栄を有します。 との間の友好協力関係を強化することを目的として行われる 書簡をもって啓上いたします。 の経済協力に関して日本国政府の代表者とネパー 本使は、 日本国とネパー ル王国 ル王

- 1 円)を限度とする額の贈与(以下「贈与」という。)を行う。 王国政府に対し、 ることに寄与するため、 架け替え計画(第二段階)(以下「計画」という。)を実施す 日本国政府は、ネパール王国政府がカトマンドゥ市内橋梁 九億三千万円(九三〇、〇〇〇、 日本国の関係法令に従い、ネパール 000
- 2 (1) 取極に従うことを条件として使用に供される。 贈与は、 次の各期について両政府の間で行わ れる別途 の
- (a) 三月三十一日までの期間) 第 期 (この取極の効力発生の日から千九百九十三年
- (b) 三月三十一日までの期間 第二期 (千九百九十三年四月一日から千九百九十四年

# (Japanese Note)

Kathmandu, May 26, 1992

Dear Dr. Pant

cooperative relations between the two with a view to strengthening friendly and Japanese economic cooperation to be extended Majesty's Government of Nepal concerning of the Government of Japan and of His discussions held between the representatives Government of Japan the following arrangements: countries, and to propose on behalf of the I have the honour to refer to the recent

- and regulations of Japan, a grant up to nine Nepal, in accordance with the relevant laws will extend to His Majesty's Government of Government of Nepal, the Government of Japan bridges (phase II) in Kathmandu (hereinafter execution of the project for reconstruction of referred to as "the Project") by His Majesty's For the purpose of contributing to the (hereinafter referred to as "the Grant"). hundred and thirty million yen (¥930,000,000)
- subject to further arrangements between the 2. (1) The Grant will be made available following terms: two Governments to be made for each of the
- coming into force of the present arrangements and March 31, 1993); and (a) term I (period between the date of
- 6 term II (period between April 1, 1993 March 31, 1994);

極に基づく平成四年度の贈与限度額に関する取極ネパールとのカトマンドゥ市内橋 梁 架け替え計画 (第二段階) の実施のための贈与取極及び同取 一六八七

3

- (2)合は、 ら関係期間 うに割り当てられ 両 (1)政 にいう各期間に (1) 府 に この の W 関 う別 係 限 の 当局 終了ま りでない。 途 の 取 間 た贈与額 割り当てられる贈与額を定め での 極は、 の 合意 期間 は、 に 交換公文の形式により行 よっ に 関係取 使用 て 各 に供され 期 極 の効 間 が る。 延 力発生の日か る。 長 され ただし、 このよ わ る場 n
- (1)味し、 場合は日本 語 げる日本国又は 意 ル は、 味する。) 国民の役務 贈与は、 ネパ この 1 取 ネ 玉 を購 パー 極 ル の自然人又はその支配する日本国 国 ネ の中で用 民 バ i 入するために使用される。 の場 王国 1 ル 合はネパールの自然人又は法人を の生産物及び日本国民又はネ |政府により適正にかつ専ら次に掲 W るときは い つでも、 (国民という 日本国 の法人を意 民 バ の 1
- る。)の建設のために必要な生産物及び役務()橋梁、取付道路及び附属施設(以下「施設」と総称す
- 要な役務及び同国における国内輸送のための役務的。(回にいう生産物のネパール王国までの輸送のために必
- (2)物以 場合には、 ネ バ (1)外 1 の規定に ル の 玉 to 民 の (1)(a) にい かか の役 並 び 務 に わらず、 以外 (1) う生産 (a) 及び の t 物 贈与は、 で日本 の (b) にいう役 の 購 両政府 入 国又はネパ の た 務 め で日本国 が必要と認める に 使用 1 ル 一民又は の するこ 生産

- (2) Each of the arrangements referred to in sub-paragraph (1) above will be made in the form of exchange of notes and will specify the amount of a grant to be allocated for each of the terms referred to in sub-paragraph (1) above. The amount thus allocated will be made available during the period between the date of coming into force of the arrangement concerned and the end of the term concerned, unless each period is extended by mutual agreement between the authorities concerned of the two Governments.
- 3. (1) The Grant will be used by His Majesty's Government of Nepal properly and exclusively for the purchase of the products of Japan or Nepal and the services of Japanese or Nepalese nationals listed below: (The term nationals whenever used in the present arrangements means Japanese physical persons or Japanese juridical persons controlled by Japanese physical persons in the case of Japanese nationals, and Nepalese physical or juridical persons in the case of Nepalese nationals.)
- (a) products and services necessary for the construction of bridges, access roads and other supplementary facilities (hereinafter jointly referred to as "the Facilities"), and
- (b) services necessary for the transportation of the products referred to in sub-paragraph (a) above to the Kingdom of Nepal, and those for internal transportation therein.
- (2) Notwithstanding the provisions of sub-paragraph (1) above, when the two Governments deem it necessary, the Grant may be used for the purchase of the products of the kind mentioned in (a) of sub-paragraph (1) above, which are products of countries other

とができる。

- 4 結する。 物及び役務 本国政府 ネパール こ に より認証されなければならない。 の契約は、 を購入するため、 王国政府又はその指定する当局は、 贈与の対象として適格であることが 日本国民と円貨建 ての 3にいう生 契約を締 B 産
- 5 (1) 金を、 う。)に開設されるネバール王国政府名義 定され 又はその指定する当局が負う債務の弁済に充てるため 「認証された契約」という。)に基づいてネパー い込むことにより、 日本 る日 国 ネパー 一政府 本国の は、 ル王国政府又はその指定する当局 4 外国 の規定に従って認証 贈与を実施する。 |為替公認銀行(以下「銀 され の 勘 定に日本円で た契約 によ ル王国政府 行 とい って指 ( 以 下 の資
- 日本国政府に提出した時に行われる。 当局が発行する支払授権書に基づいて銀行が支払請求書を② ①にいう払込みは、ネパール王国政府又はその指定する
- (3)受領 定する当局との間 (1)する支払を行うことに限 する手続 すること及び認証され にいう勘定の目的は、 細目は、 の協議により合意される。 銀行とネパール王国政 た契約 日本国政府が払い込む日 られ る。 の当事者で 勘 定の 貸記 ある日 府又はその 及 1本国民 本円 U 借 記 指 を

- than Japan or Nepal and the services of the kind mentioned in (a) and (b) of sub-paragraph (1) above, which are services of nationals of countries other than Japan or Nepal.
- 4. His Majesty's Government of Nepal or its designated authority will enter into contracts in Japanese yen with Japanese nationals for the purchase of the products and services referred to in paragraph 3. Such contracts shall be verified by the Government of Japan to be eligible for the Grant.
- 5. (1) The Government of Japan will execute the Grant by making payments in Japanese yen to cover the obligations incurred by His Majesty's Government of Nepal or its designated authority under the contracts verified in accordance with the provisions of paragraph 4 (hereinafter referred to as "the Verified Contracts") to an account to be opened in the name of His Majesty's Government of Nepal in an authorized foreign exchange bank of Japan designated by His Majesty's Government of Nepal or its designated authority (hereinafter referred to as "the Bank").
- (2) The payments referred to in sub-paragraph (1) above will be made when payment requests are presented by the Bank to the Government of Japan under an authorization to pay issued by His Majesty's Government of Nepal or its designated authority.
- (3) The sole purpose of the account referred to in sub-paragraph (1) above is to receive the payments in Japanese yen by the Government of Japan and to pay to the Japanese nationals who are parties to the Verified Contracts. The procedural details concerning the credit to and debit from the account will be agreed upon through consultation between

ネパー 極に基づく平成四年度の贈与限度額に関する取極 ルとのカトマンドゥ市内橋 梁 架け替え計画 (第二段階) の実施のための贈与取極及び同取 一六八九

- る。6① ネパール王国政府は、次のことのために必要な措置をと
- の整地を行うこと。(四)施設の建設のために必要な土地を確保し、かつ、用地
- 施設を提供すること。
  (1) 用地の外における配電、給水、排水その他の付随的な
- ことを確保すること。 ける通関及び同国における国内輸送が速やかに行われる() 贈与に基づいて購入される生産物のネパール王国にお
- その他の財政課徴金を免除すること。役務の供与に関してネパール王国における関税、内国税は、日本国民につき、認証された契約に基づく生産物及び
- 同国における滞在に必要な便宜を与えること。し、その作業の遂行のためのネパール王国への入国及びして役務を供与することを必要とされる日本国民に対(の)認証された契約に基づく生産物及び役務の供与に関連
- 使用されることを確保すること。が計画の実施のために適正にかつ効果的に維持され及び低、贈与に基づいて建設される施設及び購入される生産物
- ⑤ 計画の実施のために必要なすべての経費(贈与によっ

- the Bank and His Majesty's Government of Nepal or its designated authority.
- 6. (1) His Majesty's Government of Nepal will take necessary measures:
- (a) to secure a lot of land necessary for the construction of the Facilities and to clear the site;
- (b) to provide facilities for distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities outside the site;
- (c) to ensure prompt customs clearance and internal transportation in the Kingdom of Nepal of the products purchased under the Grant;
- (d) to exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the Kingdom of Nepal with respect to the supply of the products and services under the Verified Contracts;
- (e) to accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the Verified Contracts such facilities as may be necessary for their entry into the Kingdom of Nepal and stay therein for the performance of their work;
- (f) to ensure that the Facilities constructed and the products purchased under the Grant be maintained and used properly and effectively for the execution of the Project; and
- (g) to bear all the expenses, other than those covered by the Grant, necessary for

(2)社 の海上輸送及び海上保険に関し、 の間 ール王国政府は、 の公正 かつ自由な競争を妨げることのあるいかなる 贈与に基づいて購入される生産 海運会社及び海上保険会

て負担され

るものを除く。)を負担すること。

(3)再輸出 贈与に基づいて購入される生産物は、 ð れてはならない。 ネ バ ール王国より

制限も課さない。

7 る問題についても相互に協議する。 両政府は、 この取極から又はこれに関連して生ずるいかな

るものとすることを提案する光栄を有します。 ŧ 記 のとみなし、 の取極を確認される貴官の返簡が両政府間の合意を構成する 本使は、 更に、 その合意が貴官の返簡の日付の日に効力を生ず この書簡及びネパール王国政府に代わって前

2 て敬意を表します。 本使は、 以上を申し進めるに際し、 ここに重ね て貴官に向 か

千九百九十二年五月二十六日にカトマンドゥで

ネ パ 1 ル 王国駐在

日 本国特命全権大使 伊 藤 忠

ネ ール王国

大蔵省次官 タークル・ナート・パント 殿

極に基づく平成四年度の贈与限度額に関する取極ネパールとのカトマンドゥ市内橋 梁 架け替え計画 (第二段階) の実施のための贈与取極及び同取 一六九

the execution of the Project.

物

- may hinder fair and free competition among the insurance of products purchased under the Grant, His Majesty's Government of Nepal will shipping and marine insurance companies. refrain from imposing any restrictions that (2) With regard to the shipping and marine
- Nepal. shall not be re-exported from the Kingdom of (3) The products purchased under the Grant
- arrangements. other in respect of any matter that may arise 7. The two Governments will consult with each from or in connection with the present

Governments, which will enter into force on as constituting an agreement between the two behalf of His Majesty's Government of Nepal the foregoing arrangements shall be regarded this Note and your Note in reply confirming on the date of your reply. I have further the honour to propose that

to you the assurance of my high consideration. I avail myself of this opportunity to renew

Ministry of Finance Nath Pant (Signed) and Plenipotentiary of Japan Ambassador Extraordinary the Kingdom of Nepal Chuichi Ito

Secretary Dr. Thakur

of the Kingdom of Nepal

# (ネパール側書簡)

### (訳文)

の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。書簡をもって啓上いたします。本官は、本日付けの閣下の次

## (日本側書簡)

を生ずるものとすることに同意する光栄を有します。構成するものとみなし、その合意がこの返簡の日付の日に効力認するとともに、閣下の書簡及びこの返簡が両政府間の合意を本官は、更に、ネパール王国政府に代わって前記の取極を確

って敬意を表します。本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向か

千九百九十二年五月二十六日にカトマンドゥで

ネパール王国

大蔵省次官 タークル・ナート・パント

# ネパール王国駐在

日本国特命全権大使 伊藤忠一閣下

## (Nepalese Note)

Kathmandu, May 26, 1992

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honour to confirm on behalf of His Majesty's Government of Nepal the foregoing arrangements and to agree that Your Excellency's Note and this Note shall be regarded as constituting an agreement between the two Governments, which will enter into force on the date of this reply.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

(Signed) Thakur Nath Pant Secretary Ministry of Finance of the Kingdom of Nepal

His Excellency
Mr. Chuichi Ito
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of Japan
to the Kingdom of Nepal

(Japanese Note)

(カトマンドゥ市 る交換公文) の間の交換公文に基づく平成四年度の贈 ため の 贈 与に 関 内橋梁架け替え計 する日本 国 政府とネパ 画 (第二段階) 与限度額に関 1 ル王国 一政府と の実 す

## (日本側書簡)

(訳文)

王 た 政 日 府の代 との 討 本国の 書簡 次 間 をもって啓上い の取極を日本国政府に代わって提案する光栄を有しま 表者とネパール王国政府の代表者との間 経済協力に関する本日付けの交換公文に関 の友好協 言及するとともに、 力関係 た を強化することを目的として行わ します。 前記の交換公文の2の規定に従 本使は、 日本国とネパー で最近行われ Ļ 日本国 れる ル王

千七百万円 関係当局間 三年三月三十一日までの期間 け 与を行う。 替え計画 ル王国政府に対 日 本国政府は、 の合意によって延長することができる。)に、 (第二段階) 四九七、 Ų ネパール王国政府がカトマンドゥ市内橋梁架 この 〇〇〇、〇〇〇円)を限度とする額 を実施することに寄与するため、 取 極 (ただし、 の効力発生の日から千九百九十 この期間は、 両政 四億九 ネバ 府 の 贈 0

記の取極を確認される貴官の返簡が両政府間の合意を構成する本使は、更に、この書簡及びネパール王国政府に代わって前

Kathmandu, May 26, 1992

Dear Dr. Pant,

With reference to the Exchange of Notes dated today concerning Japanese economic cooperation to be extended with a view to strengthening friendly and cooperative relations between Japan and His Majesty's Government of Nepal, I have the honour to refer to the recent discussions held between the representatives of the Government of Japan and of His Majesty's Government of Nepal, and to propose on behalf of the Government of Japan, in accordance with paragraph 2 of the above-mentioned Exchange of Notes, the following arrangements:

execution of the project for reconstruction of bridges (phase II) in Kathmandu by His Majesty's Government of Nepal, the Government of Japan will extend to His Majesty's Government of Nepal a grant up to four hundred and ninety-seven million yen (¥497,000,000) during the period between the date of coming into force of the present arrangements and March 31, 1993, unless the period is extended by mutual agreement between the authorities concerned of the two Governments.

I have further the honour to propose that this Note and your Note in reply confirming on behalf of His Majesty's Government of Nepal

一六九三

極に基づく平成四年度の贈与限度額に関する取極ネバールとのカトマンドゥ市内橋 梁 架け替え計 -パールとのカトマンドゥ市内橋梁 架け替え計画 (第二段階) の実施のための贈与取極及び同取

ものとみなし、その合意が貴官の返簡の日付の日に効力を生ず るものとすることを提案する光栄を有します。

って敬意を表します。 本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて貴官に向か

千九百九十二年五月二十六日にカトマンドゥで

ネパ ール王国駐在

日本国特命全権大使 伊藤忠一

(Signed)

Chuichi Ito

and Plenipotentiary of Japan Ambassador Extraordinary

to the Kingdom of Nepal

ネパ ール王国 大蔵省次官 タークル・ナート・パント 殿

> the foregoing arrangements shall be regarded Governments, which will enter into force on the date of your reply. as constituting an agreement between the two

to you the assurance of my high consideration. I avail myself of this opportunity to renew

of the Kingdom of Nepal Ministry of Finance Secretary Dr. Thakur Nath Pant

### (訳文)

の 書簡を受領したことを確認する光栄を有します。 書簡をもって啓上いたします。本官は、本日付けの閣下の次

## 日本側書簡)

認するとともに、 を生ずるものとすることに同意する光栄を有します。 構成するものとみなし、 本官は、 更に、ネパール王国政府に代わって前記の取極を確 閣下の書簡及びこの返簡が両政府間 その合意がこの返簡の日付の日に効力 の合意を

って敬意を表します。 本官は、 以上を申し進めるに際し、 ここに重ねて閣下に向 か

千九百九十二年五月二十六日にカトマンドゥで

ネパ ール王国

大蔵省次官 タークル・ナート・パント

ネパ ール王国駐在

日本国特命全権大使 伊藤忠一閣下

極に基づく平成四年度の贈与限度額に関する取極ネパールとのカトマンドゥ市内橋。梁架け替え計画

(Nepalese Note)

Kathmandu, May 26, 1992

Excellency,

receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows: I have the honour to acknowledge the

"(Japanese Note)"

the foregoing arrangements and to agree that Your Excellency's Note and this Note shall be the two Governments, which will enter into force on the date of this reply. regarded as constituting an agreement between behalf of His Majesty's Government of Nepal I have further the honour to confirm on

consideration. to Your Excellency the assurance of my highest I avail myself of this opportunity to renew

(Signed) of the Kingdom of Nepal Ministry of Finance Thakur Nath Pant Secretary

Mr. Chuichi Ito His Excellency and Plenipotentiary of Japan Ambassador Extraordinary the Kingdom of Nepal

(第二段階) の実施のための贈与取極及び同取 一六九五

### (参考)

たそのうち、平成四年度については四億九千七百万円を限度とする額の贈与を行うことを定めたも のである。 の実施のため、平成四年度より二箇年にわたり九億三千万円を限度とする額の贈与を行うこと、ま この取極は、日本国政府がネパール政府に対し、カトマンドゥ市内橋梁架け替え計画(第二段階)